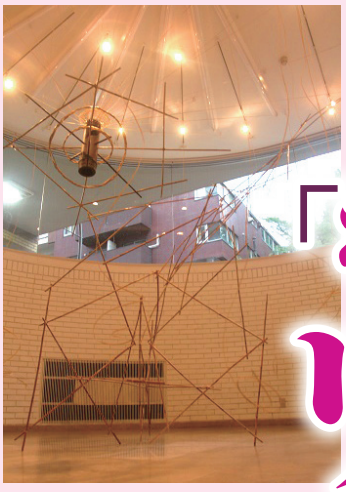


河合塾エンリッチ講座 2018

「わたし」と「社会」のリ・デザイン

～自分らしく生きること、社会とつながりをもつこと～

◉講演：**山下　彩香**
（EDAYAディレクター《デザイナー／リサーチャー》河合塾横浜校出身）

◉司会：**小森　清久**
（英語科）

運命的なものに出会っているように見える人は、たまたまの出会いを運命に変える力を持っていた人なのかもしれない

皆さんは「自分のやりたいこと」が見えていますか?

私は今フィリピン・山岳少数民族の仲間とEDAYAというプロジェクトを立ち上げ、「失われつつある地域の文化」を「竹ジュエリーや楽器の制作販売」を通して世界に伝える活動していますが、学生の頃は自分が本当にやりたいと思えるものを探しながらもどうしても分からなくて、何で私には人生の転機と言えるような出会いがないんだろう、ってずっと悩んでいました。

今回は、高校から河合塾を経て東大へ入り、同大学院へ進学し、いろいろな将来の選択肢があった中で、どうしてEDAYAの活動を進めていこうと決断したのか、活動を立ち上げるまでの試行錯誤とプロジェクトを構築する中で気づいた実践知について、お話したいと思っています。

将来、世界を舞台に活動したいと思っている人や、自分なりの生き方や将来の働き方を模索している人、新たな国際協力の在り方に関心のある人、日本の地域活性化をはじめとして、ローカルとグローバルの関係に関心を持っている人の参加をお待ちしています。

EDAYA：2012年にフィリピンの地方都市バギオからスタートしたプロジェクト。柔軟な発想でアート/デザイン/教育を融合したプロジェクトを多く展開し、フィリピン・ルソン島北部山岳先住民族カリンガの文化から育まれた叡智を、竹ジュエリーや楽器の制作販売・場つくりを通して世界中に届けつつ、関わる一人ひとりが自分の本当に大切にしたい価値観や生き方に気づくきっかけをデザインしています。

山下（やました） 彩香（あやか） EDAYA ディレクター（デザイナー／リサーチャー）

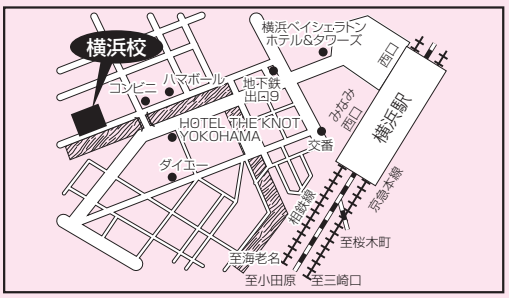
1985年福岡県生まれ。大の旅好きでこれまで 48ヵ国を旅する。高校在学中に、1年間カナダに留学。その後、東京大学理科Ⅱ類に入学。同大学農学部国際開発農学専修に進学し、タイをフィールドとした土壌水分量の研究を行った。大学院は、東京大学大学院医学系研究科人類生態学教室へ進学。フィリピン北部の鉱山にて、金を手堀りする人々の労働環境について研究した。同時に、それまで隠してきた左耳が聞こえない事、表現活動への潜在的欲求をベースにした「マイノリティと芸術」というテーマでの個人研究も進め、大学院在学中の 2011年に、鉱山での仕事にも従事していた竹工芸家・音楽家のバナサン氏と EDAYAの原型となる活動を開始。卒業後、EDAYAの活動を本格化。NHK「アジアで花咲け!なでしこたち」、テレビ朝日「こんなところに日本人」「久米宏 ラジオなんですけど」等に出演。朝日新聞「ひと」欄などメディア掲載多数。 http://edaya-arts.com

6月16日㈯　15：00～16：30

横浜校　707教室

入場無料
申込不要

〒220-0004　神奈川県横浜市西区北幸2-11-6
0120-192-149
●JR・東急東横線・みなとみらい線・京急本線・相鉄線横浜駅みなみ西口から徒歩６分、西口から徒歩７分
●横浜市営地下鉄横浜駅出口9から徒歩４分



※どなたでも自由に参加できます。